

～総額について～

●平成22年度会計別予算内訳と前年度との比較

会計名	平成22年度	平成21年度	比較	伸び率
一般会計	133億8,960万円	129億2,070万円	4億6,890万円	3.6%
特 別 会 計				
国民健康保険	38億7,412万円	35億6,094万円	3億1,318万円	8.8%
駅西土地区画整理事業	7億9,344万円	5億8,423万円	2億0,921万円	35.8%
下水道事業	12億2,148万円	11億6,287万円	5,861万円	5.0%
老人保健医療	143万円	430万円	△287万円	△66.7%
介護保険	15億2,859万円	14億6,113万円	6,746万円	4.6%
後期高齢者医療	4億3,057万円	3億9,775万円	3,282万円	8.3%
殿ヶ谷財産区	459万円	581万円	△122万円	△21.0%
石畑財産区	1,751万円	2,180万円	△429万円	△19.7%
箱根ヶ崎財産区	728万円	747万円	△19万円	△2.5%
長岡財産区	64万円	67万円	△3万円	△4.9%
小 計	78億7,965万円	72億0,697万円	6億7,268万円	9.3%
合 計	212億6,925万円	201億2,767万円	11億4,158万円	5.7%

※財産区特別会計を含めて記載しています。

◆予算額について

一般会計予算額は、133億8,960万円となり、前年度より4億6,890万円(3.6%)の増額になりました。

殿ヶ谷土地区画整理組合助成金や箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計繰出金の増加及び子ども手当事業の実施が増額の主な要因です。

また、特別会計を含めた予算総額は、212億6,925万円となり、前年度より11億4,158万円(5.7%)の増額となりました。一般会計の増額に加え、国民健康保険特別会計の医療給付費の増額や、箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計の増額によります。

予算の使い道 平成22年度の主な事業

～施政方針に沿って各事業を展開していきます～

環境と共生するまちづくり

◆循環型社会

- 住宅用環境配慮型機器購入費助成 650万円
- 地区別ごみ収集委託 1億8,746万円
- エコパーク管理業務委託 924万円

◆公園・緑地

- 箱根ヶ崎ポケットパーク整備工事 350万円
- 長岡地区整備統合事業公園整備工事設計委託 371万円
- 公園遊具等設置工事 1,000万円
- 樹林地用地取得 3,576万円
- 保存樹林地等奨励金 294万円

◆下水道

- 雨水調整池築造工事 2億9,925万円

◆都市基盤づくり

- 駅西土地区画整理事業特別会計繰出金 3億8,744万円
- 殿ヶ谷土地区画整理組合助成金 2億円
- 栗原地区土地区画整理事業準備会助成金 5,234万円
- 都市計画道路3・5・24号線用地取得 4,646万円
- 都市計画道路3・5・24号線物件補償費 5,300万円
- 町道改修及び舗装工事 2億6,408万円

◆防災

- (仮称)元狭山広域防災広場整備工事及び資器材 1億 650万円
- 消防ポンプ自動車 2,173万円
- 消防団員費用弁償 674万円

活力ある生活を支えるまちづくり

◆コミュニティ・スポーツの振興

- (仮称)長岡コミュニティセンター新築工事(第一期) 1億3,537万円
- 石畑会館改修工事 1,659万円
- 国民体育大会競技施設整備工事 2億2,906万円

◆防犯

- 防犯パトロール委託 1,392万円
- 防犯灯設置工事 384万円

◆その他

- 住宅改修等補助金 750万円
- 中小企業信用保証料補助金 470万円
- 残堀川イベント事業 143万円
- 町制施行70周年記念事業 1,185万円

自らを高め互いを認め合うまちづくり

◆福祉・保健

- 保育園児童運営委託 5億4,589万円
- 認可外保育所利用者補助金 3,056万円
- 地域保健福祉計画策定 542万円
- 福祉バス運行運営委託 1,896万円
- 妊産婦健康診査 2,054万円
- 予防接種(ヒブワクチン接種)助成 414万円

◆国際化

- 海外留学奨学資金等支給 450万円
- 青少年国際交流事業(モーガンヒル市) 198万円

◆学校教育

- 第五小・第二中耐震補強工事 9,960万円
- 小中学校学力向上事業(学習サポーター、学力調査委託、漢字検定委託等) 4,936万円
- 児童・生徒国内交流事業 103万円
- 私立幼稚園児保護者負担軽減補助金 4,141万円
- 高等学校等入学時奨学金 180万円

◆社会教育

- スカイホール主催事業公演委託 1,300万円
- 社会教育施設用地取得 9,000万円

総額

212億6,925万円

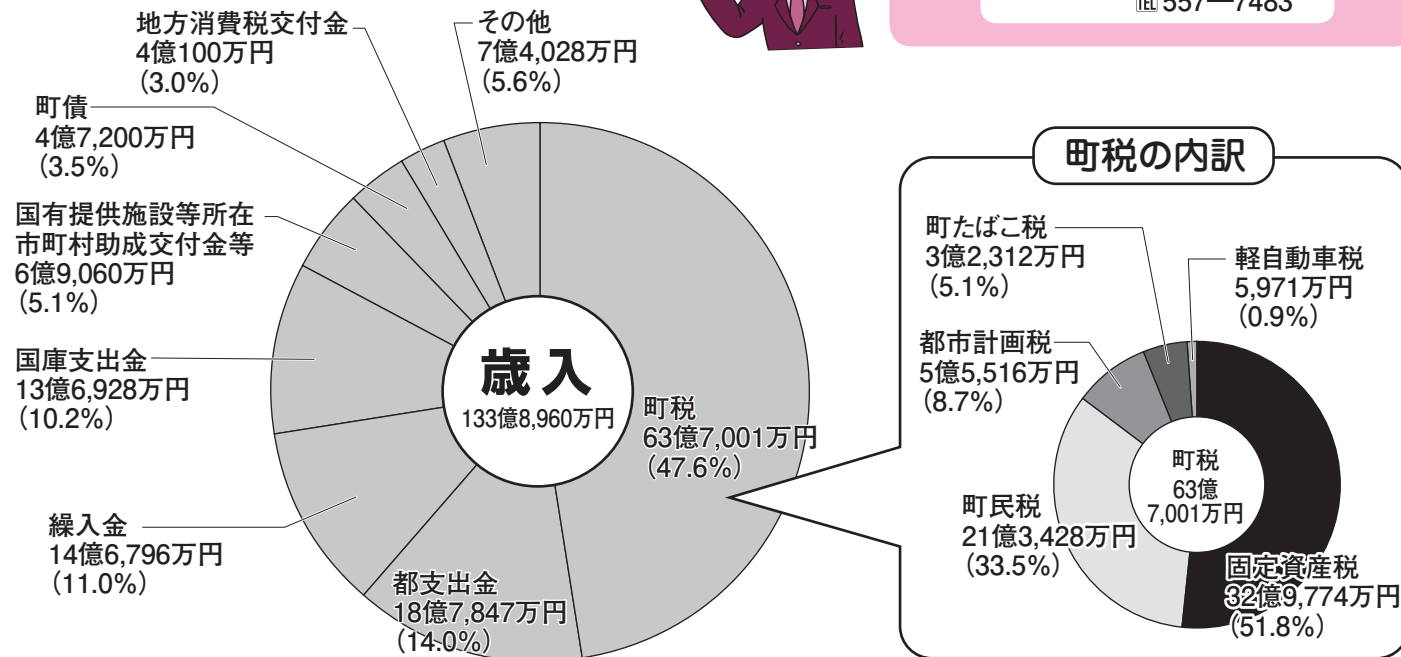
(前年対比 5.7%の増)

一般会計

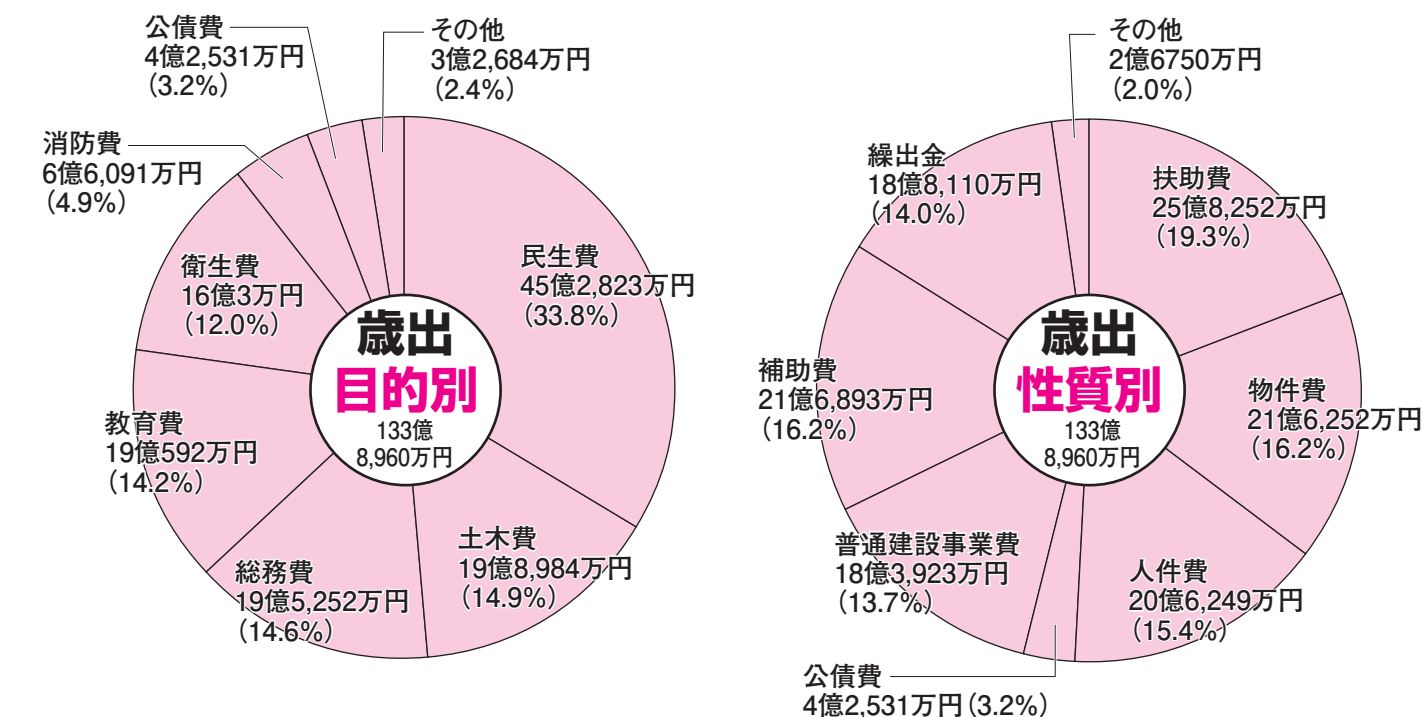
133億8,960万円

(前年対比 3.6%の増)

一般会計の歳入と歳出の内訳は、円グラフの通りです。
() 内の数字は構成比



※自主財源は、町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入の合算額となり、平成22年度は、83億6,435万円となります。

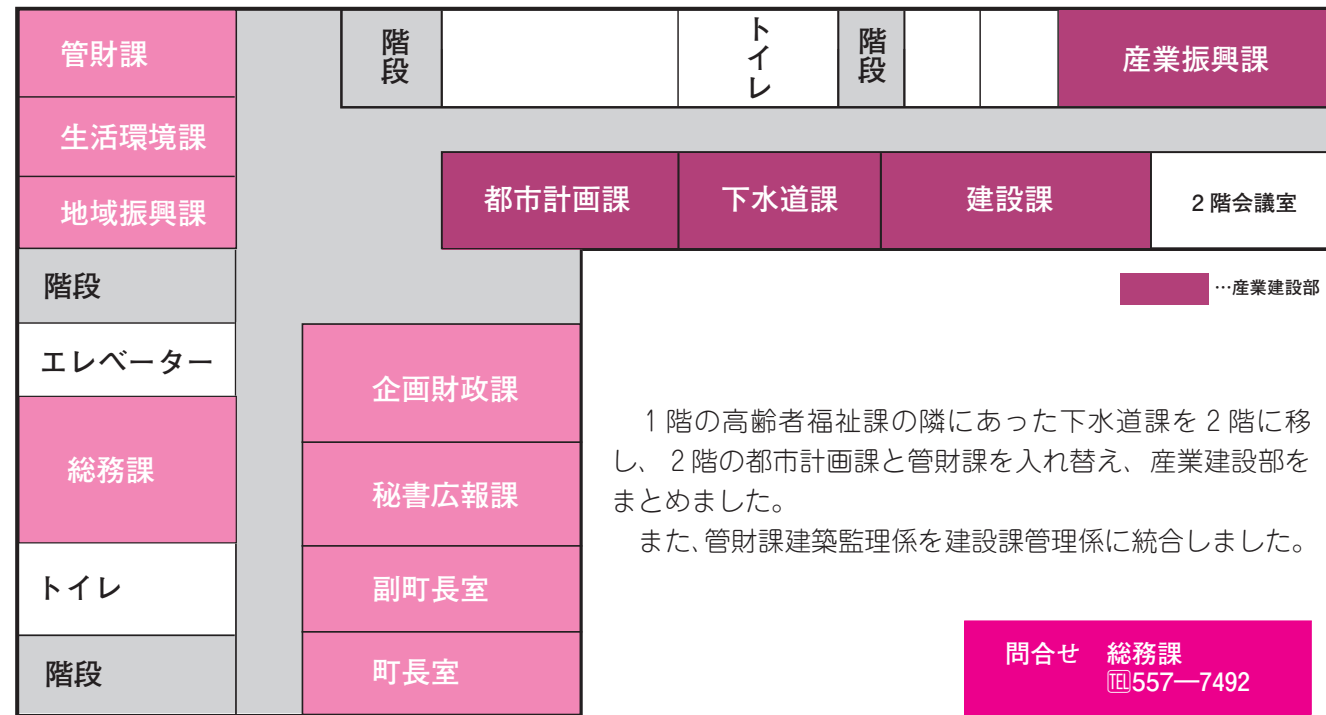


4月1日から 課の配置が一部変わりました

町では、住民サービスの一層の向上を目指す組織の在り方について検討してきました。係の統廃合や部ごとに課をまとめるなど、課の配置を変更しました。

4

2階庁舎案内図



みどり みらい みずほ 今年は今 町制施行70周年です



町制施行70周年
ロゴマーク

昭和15年11月10日、箱根ヶ崎村、石畑村、殿ヶ谷村、長岡村を廃して瑞穂町が誕生しました。「瑞穂町」の命名者は当時の東京府知事岡田周造氏でした。その後、昭和33年に人間郡元狹山村と合併しました。戦中、戦後、高度成長期、バブル期とその破たんなどを経て現在の町があります。そこには、郷土を愛し、必死に生きながら町を築いてきた先人の尊い働きがあったことを忘れてはなりません。

今年は今町制施行70周年を迎えます。町の歴史を振り返り、この節目を町民の皆様をはじめ町全体でお祝いするとともに、町に活力とにぎわいを呼び起こすため、次の事業を実施します。皆様のご参加をお待ちしています。

記念事業

- NHK公開番組「のど自慢」 7月25日(日)
- 記念式典(名誉町民表彰・歴史講演会等を予定) 11月10日(水)
- 航空自衛隊中央音楽隊演奏会 平成23年2月11日(祝)

町内会や自治会の行事をはじめ地域のイベントにおきまして70周年を祝い盛り上げていただきますようご協力をお願いします。
のぼり旗や横断幕の貸し出しも行います。

主なPR事業

- さくらまつり 4月 4日(日)
- 残堀川ふれあいイベントおよびウォーキング 5月 9日(日)
- みずほサマーフェスティバル 8月14日(土)
- 敬老会 9月11日(土)
- 町民体育祭 10月 3日(日)
- 健康ウォーキング 10月16日(土)
- フリーマーケットおよび環境啓発事業 10月17日(日)
- 明治大学マンドリンクラブ演奏会 10月23日(土)
- 第40回産業まつり 11月13日(土)・14日(日)
- 駅伝競走大会 平成23年1月

問合せ 企画財政課 ☎557-7468

災害・防犯・行政情報の メール配信サービス

次のアドレスに空メールを送信し、返信メールからご登録ください。

▶災害情報のメールアドレス
mizuho.saigai@mpme.jp



▶防犯情報のメールアドレス
mizuho.bouhan@mpme.jp



▶行政情報のメールアドレス
mizuho.gyousei@mpme.jp



問合せ 秘書広報課 ☎557-7497

町職員人事(4月1日)

()内は旧所属。課長補佐・係長・係員は省略。

【部長級】

▼産業建設部長 田辺 喜好
(産業建設部建設課長)

【課長級】

▼住民生活部地域振興課長 大井 克己
(企画総務部企画財政課企画係長)

▼産業建設部建設課長 会田 進
(瑞穂斎場組合事務局長)

▼教育部学校指導課長 黒羽 次夫
(東京都教育委員会から派遣)

▼瑞穂斎場組合事務局長 佐久間 裕之
(瑞穂町シルバー人材センター次長)

▼羽村・瑞穂地区学校給食組合給食課長 野口 英雄
(教育部教育総務課課長補佐)

【3月31日付退職】

▼古川 光雄 (産業建設部長)

▼岩田 好一朗 (羽村・瑞穂地区学校給食組合給食課長)
▼谷合しのぶ (教育部学校指導課長)

海外留学を目指す皆さんへ

瑞穂町海外留学奨学資金等 支給制度を創設しました

町では、積極的に海外の高等学校や大学等で、学芸や技能を修得しようとする青少年に対して、奨学資金と渡航費用の一部を支給する「海外留学奨学資金等支給制度」を創設しました。

募集人員 若干名

留学先 各国における高等学校および大学等(入学手続きは各自で行っていただきます)

支給内容

▼奨学資金 授業料またはこれに準ずる費用

▼渡航費用 留学先への往復航空運賃

応募資格

・中学3年生以上30歳未満であること

・町内に引き続き2年以上居住していること

・同種の奨学資金等をほかから支給されないこと

・1年以上留学すること

・連帯保証人がいること など

申請方法 必要書類を添えて、申請書を企画財政課へ提出してください。

※詳しくは、募集案内をご覧ください。

募集案内は役場(企画財政課)、武蔵野・元狹山コミュニティセンター、スカイホール、図書館、ふれあいセンターに設置しています。また、町ホームページからもダウンロードできます。

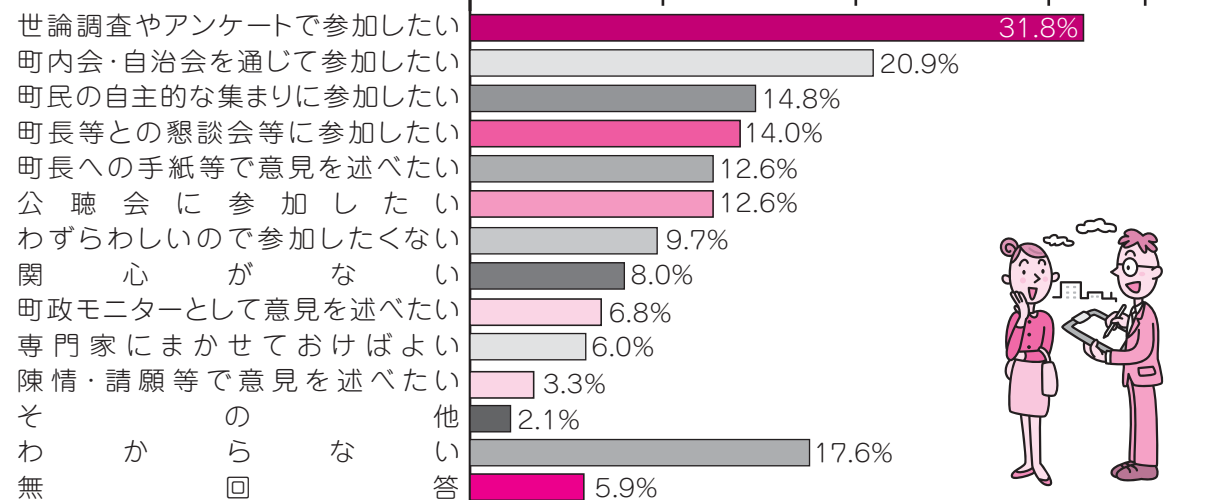
受付期間 ▼第1期 6月1日(火)〜30日(水)

▼第2期 平成23年1月4日(火)〜31日(月)

選考 海外留学奨学生選考委員会において、書類審査等によって選考されます。

問合せ 企画財政課 ☎557-7469

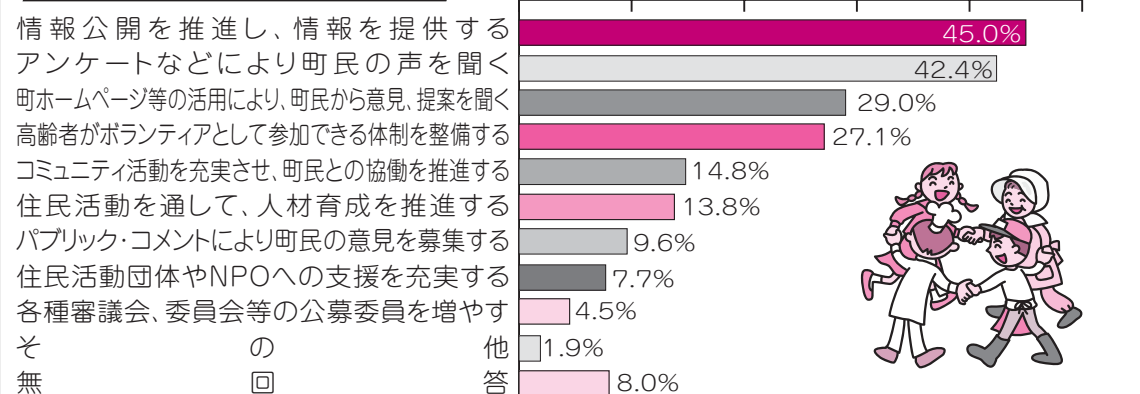
行政への町民参加



◆行政への町民参加についてどのような考えですか

行政への町民参加について尋ねたところ、前回調査同様「世論調査やアンケートで参加したい」を挙げる人が多くなっています。次いで「町内会・自治会を通じて参加したい」となっています。前回調査と比べ、各項目のポイントが低下する傾向となり、「わからない」が6.1ポイント上昇しています。

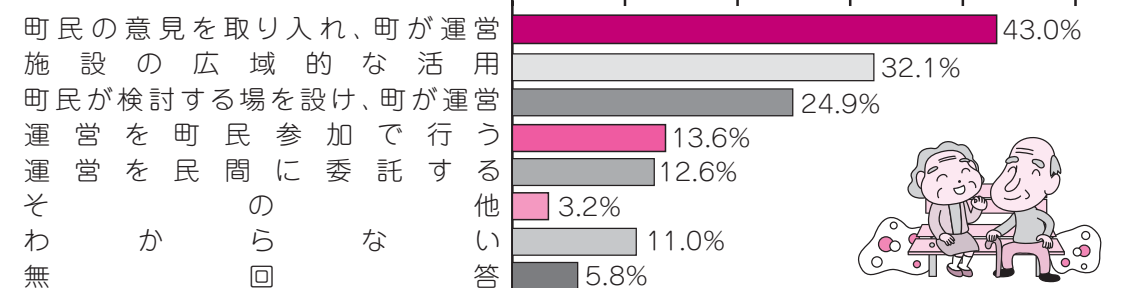
町民参加を進める手法



◆行政への町民参加をより一層進めるための手法としてどのようなことが必要とお考えですか

町民参加を進める手法を尋ねたところ、「情報公開を推進し、情報を提供する」「アンケートなどにより、町民の声を聞く」を挙げる人が多くなっています。ポイントがやや離れて「町ホームページ等の活用により、町民から意見、提案を聞く」が挙げられています。情報公開を進めるとともに、町民から意見、提案等ができる環境整備が求められています。

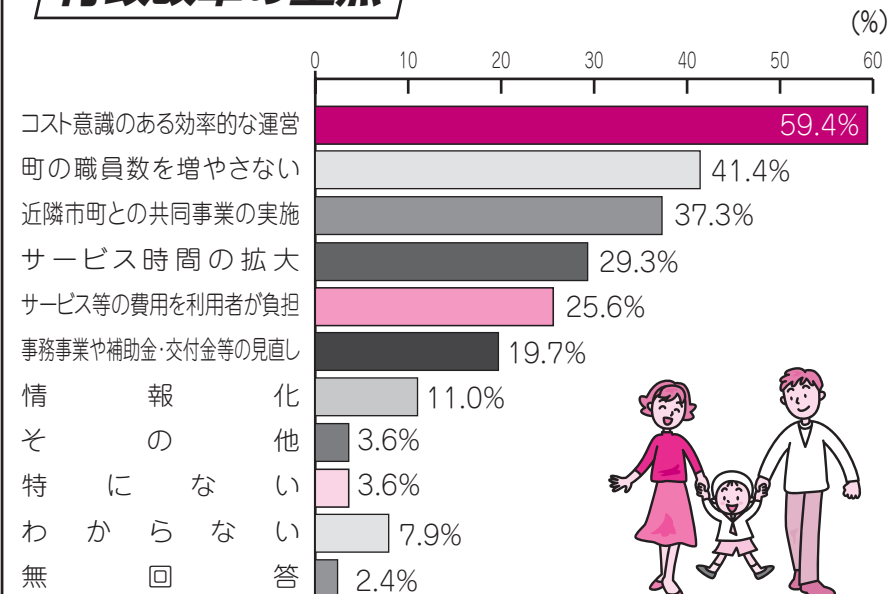
公共施設の活用方法



◆公共施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり重視すべき点はなんですか

公共施設の活用方法を尋ねたところ、「町民の意見を取り入れ、町が運営」を挙げる人が多くなっています。また、順位は低いものの、「運営を町民参加で行う」「運営を民間に委託する」が、前回調査に比べ上昇傾向にあります。

行政改革の重点

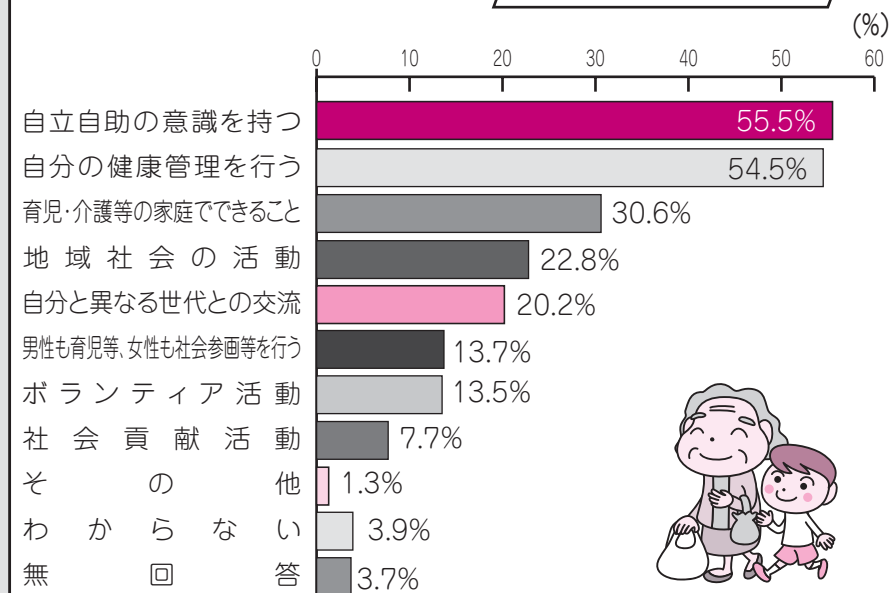


◆町では行政改革を進めています。あなたは特に何が重要であると考えますか

行政改革の重点について尋ねたところ、「コスト意識のある効率的な運営」を挙げる人が多くなっているとともに、前回調査(平成16年)に比べ4.7ポイント上昇しています。また、「町の職員数を増やさない」も、前回調査に比べ4.5ポイント上昇しています。

一方、「サービス時間の拡大」については、前回調査に比べ4.3ポイント低下しています。

行いたい活動



自分自身が行いたい活動を尋ねたところ、「自立自助の意識を持つ」「自分の健康管理を行う」を挙げる人が多くなっています。次いで「育児・介護等の家庭でできること」となっています。自分自身を管理し、自立するという意向がうかがえます。

◆これからの社会においてあなた自身はどのような活動を行いたいと考えますか

※すべての集計は小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えます。

町民意識調査

結果を報告します

その3

2月号より、昨年7月から8月に行われた第4次長期総合計画を策定するための町民意識調査の結果をお知らせしています。今月号は行政と町民の役割などについてお知らせします。

問合せ 企画財政課 0557-7468